



栃木県立大田原女子高等学校



所在地 〒324-0053 大田原市元町 1 - 5 -43
 電話 0287-22-2073
 F A X 0287-23-8759
 U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/otawarajoshi/nc2/>
 創立 明治44（1911）年4月26日
 課程 全日制課程
 設置学科 普通科
 生徒数 597名(女子597名)
 （令和3年5月1日現在）
 利用交通機関 大田原市営バス「保健センター前」下車、
 徒歩2分

I 学校の概要

本年度で創立110年を迎えた、県北唯一の女子高校です。本校では「学業+α」を掲げ、生徒一人ひとりが主体的に学習、部活動、生徒会活動に取り組んでおり、福祉活動、奉仕活動も大変盛んです。学校全体が明るく清潔感にあふれ、ICT設備が充実した環境のもと、生徒は自分の個性を磨きながら、のびのびと活気に満ちた学校生活を送っています。

1 学校教育目標

校訓 「学びつつ 品位を高め ともに働く」
 学校教育目標 「情操豊かで 知性が高く 社会に貢献できる女性を育成する」

2 目指す学校像

- 夢を志に高め 未来を拓（ひら）く女性を育む学校
- 豊かな心を持ち 生涯にわたり学び続ける女性を育む学校
- 地域とつながり 社会に貢献できる女性を育む学校

3 募集する生徒像

本校を強く志望する生徒で、本校の教育目標及び目指す学校像をよく理解し、次の（１）（２）の両方に該当する生徒

- （１）進路について明確な目標を持ち、その実現に向けて意欲的かつ計画的に努力できる生徒
- （２）部活動、生徒会活動、ボランティア活動などをおして、自己を高め、社会に貢献しようとする意欲にあふれる生徒

II 学校・学科・コース・教育課程等の特色

1 大女高は「向上心に燃えた女子が集まる学校」です

「女子だけだと人間関係が大変…」というイメージがあるかもしれませんが、実際は違います。同性だからこそ分かり合え、何でも話し合える雰囲気の中で、積極的に意見交換しながら、生徒は毎日意欲的に学習に取り組んでいます。互いに刺激し合い向上を目指していく中で、良きライバル、良き友人を作ることができます。

長く付き合い、お互いを高め合っていけるような、生涯の友が得られます。

2 大女高は「生徒一人ひとりを大切に作る学校」です

○個別指導の充実

すべての先生が、生徒の夢実現のために、熱心に指導しています。生徒一人ひとりと真摯に向き合い、進路や学習といったさまざまな分野で個別指導の充実を図っています。そのため、多くの先輩方が希望の進路を実現し、「大女高に入学して本当に良かった」といって卒業していきます。

○計画的学習指導

見通しをもって進路や学習について自ら考えるための手帳「STUDY PLAN」を使用しています。これには進路目標や、学習・進路に関する様々な行事および試験の日程などについて、各自が計画や目標を記入するとともに、実施状況を記入します。計画を立て記録を残すことで自らの学習を振り返り、バランスのとれた学習をしていくことができます。また、この記録をClassiに入力して、大学入試時の出願書類作成のためのデジタルポートフォリオとして利用できるようにしています。

3 大女高は「夢を志に高め 未来を拓く女性を育む学校」です

○計画的・組織的なキャリアガイダンスの実施

単なる出口指導に終わることなく、10年後の自分がどのような職業に就き、その職業を通してどのように社会に貢献できるかを考えさせて、自分の未来への展望を考察できるような進路指導を行っています。外部講師による進路講話、保護者対象の学年別進路説明会、卒業生による大学キャリアガイダンス、大学の出張講義、オープンキャンパスツアーを実施し、将来に対する進路意識を高めます。また、卒業後の学びの変化や社会環境の変化など様々な状況に対応できる柔軟で幅の広い視野を身につけることができるよう、さまざまなカリキュラム（地域と連携しての探究活動・プレゼンテーション）を実施しています。

○質の高い授業と意欲ある生徒

生徒と先生の「授業を大切にする姿勢」が大女高の誇りの一つです。先生たちは授業研究に大変熱心で、各教科アクティブ・ラーニングをはじめとする能動的な学習活動を積極的に取り入れています。グループワークやペアワーク、ジグソー法などを通して、生徒たちが、協働して学び合ったり、お互いに教え合うことで深い理解が得られ、学習の意欲もさらに高まります。

Ⅲ 進路状況

1 令和2年度卒業生進路状況（在籍194名）

国公立大学 42 私立大学 125 短期大学 3 専門学校等 18 就職 2 進学準備・在家 4

2 令和2年度進路別合格状況（延べ）

①国公立大学 合格50

北見工業大学	2	秋田大学	1	山形大学	1	福島大学	2
茨城大学	1	筑波大学	1	宇都宮大学	17	埼玉大学	4
東京外語大学	1	東京学芸大学	2	東京農工大学	1	横浜国立大学	1
山梨大学	1	信州大学	1	上越教育大学	1	岩手県立大学	1
宮城大学	1	秋田公立美術大学	1	山形県立栄養大学	1	福島県立医科大学	1
高崎経済大学	2	埼玉県立大学	1	横浜市立大学	2	長野県立大学	1
石川県立看護大学	1	公立鳥取環境大	1				

②私立大学 合格277

白鷗大学	46	国際医療福祉大学	34	自治医大	2	獨協医大	1
作新大学	1	文星芸大学	1	埼玉医科大学	1	女子栄養大学	1
文教大学	7	獨協大学	1	青山学院大学	5	桜美林大学	3
大妻女子大学	4	北里大学	2	国土舘大学	2	駒澤大学	2
駒沢女子大学	1	昭和女子大学	5	上智大学	1	成蹊大学	2
専修大学	1	創価大学	2	大東文化大学	2	拓殖大学	2
玉川大学	2	津田塾大学	4	中央大学	2	帝京大学	4
東海大学	11	東京家政大学	9	東京工科大学	2	東京電機大学	1
東京農業大学	5	東京理科大学	1	東洋大学	12	日本大学	2
法政大学	5	武蔵野大学	4	武蔵野美術大学	1	明治学院大学	3
明治大学	2	目白大学	2	立教大学	3	早稲田大学	2
神奈川大学	4	神奈川工科大学	6	淑徳大学	3	和洋女子大学	3
山梨学院大学	3	中京大学	2	立命館大学	2	他	48

③短期大学 合格5

秋草学園短大部	2	大妻女子大短大部	2	星美学園短大	1
---------	---	----------	---	--------	---

④専門学校等 合格21

栃木県立衛生福祉大学校	6	国際ペット総合専門学校	2	舞台芸術学院	2		
那須看護専門学校	1	IFC栄養専門学校	1	TBC学院	1	他	8

⑤就職 2

資生堂	1	星組	1
-----	---	----	---

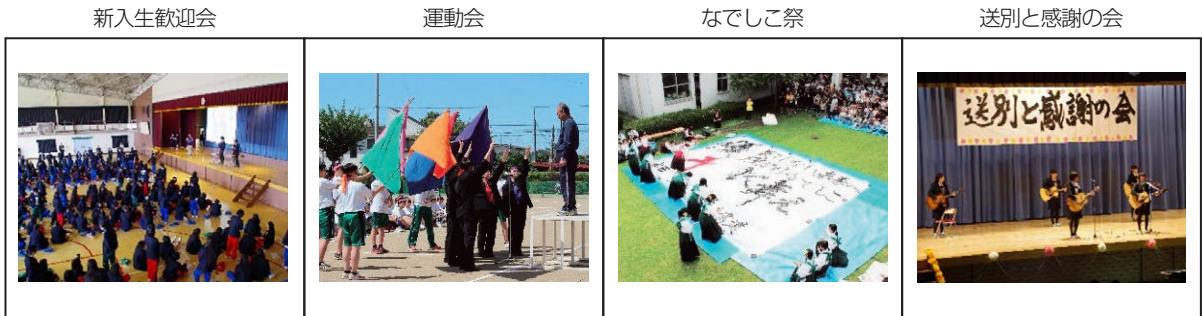
3 年度別現役延べ合格者数

	令和2	令和元	平成30	平成29	平成28
国公立大	50	60	65	62	66
私立大	277	284	246	261	261
短大	5	9	14	10	4
専修学校	21	26	27	36	31
就職	2	4	3	5	1

IV 特別活動等の紹介（学校行事、生徒会活動、部活動等）

1 自主的・主体的な行事運営

大女高の生徒会活動は非常に活発で、生徒会執行部の生徒を中心に、自主的、主体的、積極的な行事運営が行われています。「新入生歓迎会」「運動会」「なでしこ合唱コンクール」「大女高なでしこ祭」「球技大会」「送別と感謝の会」（予餞会）などの行事は、生徒の創意・工夫や協調性が十分に発揮されています。



2 部活動

全校生の部活動加入率は90%を超えて非常に高く、毎日多くの生徒が熱心に活動し、放課後も校内は活気にあふれています。定時制併設校ということで、活動は年間を通して18:30までと決められており、短い時間に集中して取り組むことで成果を上げています。全国大会に出場したスキー部、吹奏楽部や、関東大会に出場した陸上競技部、サッカー部、ソフトボール部、合唱部、ゴルフ部など、学習との両立を図りながら活動しています。



文化部： 文芸、科学、合唱、吹奏楽、美術、イラスト・写真、書道、語学、被服、演劇、茶道、華道、JRC・ユネスコ、フォークソング、箏曲、和太鼓愛好会
運動部： 陸上競技、バスケットボール、バレーボール、ソフトボール、ソフトテニス、卓球、ダンス、剣道、弓道、バドミントン、サッカー、水泳部、スキー部

3 福祉活動

大女高では、ペットボトルのキャップ回収、ウォッシュクロスの収集、募金活動、与一まつりにおけるボランティアなどの様々な福祉活動を実施しており、これらの活動を通じて、地域に貢献できる視野の広い人材の育成を目指しています。また、国際ソロプチミスト那須の支援のもと、モンゴルの子どもたちへの識字支援にも取り組んでいます。



那須赤十字病院へのウォッシュクロスの贈呈式

4 海外短期研修

国際的視野の涵養と英語力の向上を目指し、平成25年度より海外短期研修を実施しています。平成30年度は18名の生徒がアメリカのロサンゼルスに行き、ホームステイをしながら語学学校で英語を学ぶとともに、カリフォルニア州立大学やカリフォルニアサイエンスセンターなどを訪れ、たくさんの貴重な体験をしてきました。令和3年度は国内の語学研修施設（ブリティッシュヒルズ）での研修を予定しています。



海外短期研修（H30年度）

5 高大連携事業

高大連携事業として、国際医療福祉大学の公開講座を受講し、単位認定を受けることができます。毎年5月から8月までの期間に約20名の受講希望者が国際医療福祉大学で講義を受けています。講義の内容は医療、福祉全般から最新医療事情まで多岐にわたり、大変好評を得ています。

V 特色選抜について

1 定員の割合 普通科 20%程度

2 出願するための資格要件

学習成績が優秀で、大学進学という明確な進路目標をもち、次の（1）または（2）のいずれか、あるいはその両方に該当する者

（1）国語、社会、数学、理科、英語の学習成績が特に優秀で、本校入学後も意欲的に学習に取り組むことができる者

（2）中学校時代に部活動、生徒会活動、ボランティア活動などにおいて優れた実績をもち、本校入学後は学習と両立させながら、それらの中心的存在として活躍できる者

3 特色選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
作 文	時間40分 字数540～600字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志望理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 2 調査書の評価は、
 - ①第1学年から第3学年までの「各教科の学習の記録」の評価（選択科目を除く）を合計（135点満点）し、段階評価を行う。
 - ②第1学年から第3学年までの国語、社会、数学、理科、外国語の「学習の記録」の評価を合計（75点満点）し、段階評価を行う。
- 3 調査書の点数化されない部分及び面接の結果から、資格要件に該当する実績について段階評価を行う。
- 4 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議 【資料の取扱い】の2①の評価、2②または3の評価、4の評価がいずれも優秀である者を対象とし、合格内定者を選抜する。

第2次審議 第1次審議で合格内定となった者を除いた受検者を対象とし、【資料の取扱い】の2①の評価、2②または3の評価、4の評価がいずれも優秀または良好な者の中から合格内定者を選抜する。

第3次審議 第1次審議及び第2次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。